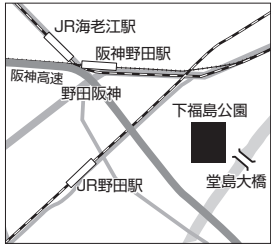


戦前、野田阪神駅前広場から新橋商店街の半ばあたりまで、陸軍の対空高射砲陣地があった。築かれたのは1942年、43年頃(昭和17、18年)で大阪では最後だった。最新鋭の高射砲を8門配備し、弾は1万以上空まで届くという代物だっ

福島区

大阪の戦跡

機関紙協会大阪
坂手崇保



た。他の陣地では7千メートルしか届かなかったらしい。

このあたりは元々、借家が立ち並ぶ長屋街で、強制疎開して高射砲陣地が造られた。空襲で陣地周辺の被害が比較的少なかったのは、B29が上空を避けていたのではないかとされている。此花区から入り、陣地手前で旋回し、西区方面に向

かったので、空襲を受けず、古い家が残ったというのだ。

福島紡績のカベ

淡路島の野島断層保存

延焼止めた「福島」の壁」



空襲で焼けた堂島大橋(右)
延焼を防いだ福島紡績会社の壁(上)



館に行ったとき、神戸大空襲でも阪神・淡路大震災でも倒れず、焼け残った「神戸の壁」が神戸市長田区から移設、展示されているのを見ることが

ある。さながら「福島」の壁とも言えるのか。

「野田藤」で有名な下福島公園はかつて福島紡績会社があった所だ。公園周辺に当時の遺構が今

も残っている。大阪厚生年金病院の北側、福島4丁目3あたりは何やら住宅にはさまれて高さ4メートルありそうなレンガの壁がわずかに姿を見せている。

45年6月15日の午前9時、11時、B29による空襲で火の手は広がったが、玉川地区からの延焼をこの壁が食い止めた。1909年(明治42年)7月31日に起こった「天満焼け」とも「北の大火」とも呼ばれる大火事でも、火勢は福島まで及び、福島紡績の壁で鎮火したと記録されている。この煉瓦壁が壊されず

残されたのは、2度も火災で役立った感謝と教訓を後世に伝えようという意図なのだろう。

堂島大橋

45年(昭和20年)3月13日午後11時45分、翌3時ごろ、B29による大空襲で多数の焼夷弾がこの付近に落とされた。橋の歩道に敷きつめられていた木煉瓦が長時間燃えた。高熱のため橋の欄干や飾り石が黒ずんで、今に残っている。数千人の戦災者が燃えさかる堂島大橋を渡って逃れていた。橋の上で息絶えた人もいたという。(つづく)

会員フォーカス

本紙で連載中の会員投稿企画「リレーエッセイ あの日あの頃」の挿絵を描き続けて25年。今春、連載は300回目を迎える。死別、子どもの成長、趣味、会員がエッセイに寄せるテーマは様々。原

稿をじっくり読んで、会員の文章に想いを馳せながら挿絵のイメージを立ち上げさせる。「重いテーマほど、創作意欲がわく」のだとか。

道楽は人生の喜び

絵はほぼ独学。パステル画、水彩、ペン画、鉛筆画、油絵などジャンルを問わず楽しんできたが、今は一区切り。それでも、「協会から頼まれる挿絵は、仕事の合間のいい気分転換。連載が続く限

り描きたい。締め切りと注文がないと描けないので」

自称・道楽歯医者。昔から映画・芸能鑑賞に目がなく、映画は劇場で年間100本は観る。DVDを入れると年230本にも。文楽や歌舞伎も好きで、毎年、四国ごんぴら歌舞伎(香川)の金毘羅で行われる興業へも足を運ぶ。さたましのファンで、フ

会を開催し舞台上がっている。意外にも、お酒は一滴も飲まないとか。

最近、力を入れているのは落語。7年前には繁昌亭で落語講座を修了し、天満屋金歯という高座名も持つ。毎日1時間の稽古を欠かさず、今では、毎月のように地域で落語

会を開催し舞台上がっている。意外にも、お酒は一滴も飲まないとか。

会を開催し舞台上がっている。意外にも、お酒は一滴も飲まないとか。

会を開催し舞台上がっている。意外にも、お酒は一滴も飲まないとか。



藤田 進さん (河内長野市)



保団連夏季号を飾る挿絵(左)と油絵(右)

共済部

休保委員交流会開く

委員業務留意点など確認

動を継続した結果、保険業法が改正され、2013年に7年ぶりに募集再開を果たしたことを強調。新規開業者に協会入会と休保加入を訴えるとともに、休業した加入者に速やかに給付できるよう協力を呼びかけた。

委員からは「元気で働き続けている会員も多いので満期年齢を延ばしてほしい」「他の所得補償保険との違いを十分説明し、積極的にアピールしていこう」などの意見が出された。

休保共済会は2015年度の新規加入目標を1千人・5千口としており、協会も若手層への働きかけを重視して取り組む。春の新規・増口の受付期間は4月1日から5月20日まで。

休保共済会は2015年度の新規加入目標を1千人・5千口としており、協会も若手層への働きかけを重視して取り組む。春の新規・増口の受付期間は4月1日から5月20日まで。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

会員学習会
歯科診療報酬改定の行方と電子請求の課題
日時 2月14日(土) 午後5時30分～7時30分
講師 田辺隆氏(保団連副会長)
会場 M&Dホール 定員 100人
会費 無料
※14日は終了後懇親会(無料)、要事前申し込み

地域包括ケア構想と課題

日時 2月15日(日) 午前10時～正午
講師 芝田英昭氏(立教大学教授)
会場 M&Dホール 定員 100人
会費 無料

2015年確定申告のポイントと税制の改定点と医療税制

日時 2月19日(木) 午後2時30分～4時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 伊藤幸子氏(協会医療税理士団)
会費 会員・家族無料、未入会者1万円

2月度生涯研修 訪問歯科診療を当たり前のことに 歯科に求められるもの

日時 2月22日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 足立融氏(鳥取県米子市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円

南河内地区 口腔外科疾患のピットフォールと医療訴訟を避けるために

日時 2月22日(日) 午後2時30分～4時30分
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 竹内憲民氏(松原徳洲会病院歯科口腔外科部長)
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

「確定申告個別相談会」(事前予約制)

期間 2月26日(木)～3月13日(金)
時間帯 一人につき2時間
①10時～ ②13時～ ③15時～
会場 保険医会館3階会議室
担当 協会顧問税理士団及び経税部
会費 原則2万円(医療以外の所得や複数人数分の相談は別途費用)
※医療以外の所得(譲渡等)がある場合は、予約時に必ずお申し出ください

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣意をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。